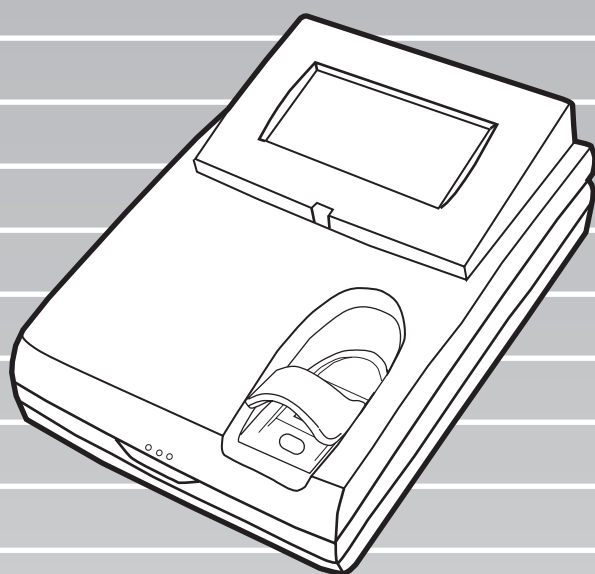


fi-5000N

スタートアップガイド



目次

■ 本書をお読みになる前に	iv
■ 安全上のご注意	v
第 1 章 お使いになる前に	1
1.1 本体と付属品を確認します	1
1.2 各部の名称	1
1.3 キーボード	1
第 2 章 fi-5000N のインストール	3
2.1 イメージスキャナの設置	3
2.2 fi-5000N 本体の設置	3
2.3 fi-5000N の設定とネットワークへの接続	4
2.4 ドライバのインストール	6
2.5 fi-5000N ソフトウェアのインストールと設定	10
2.6 指紋登録	13
2.7 読み取りテスト	15
付録 1 困ったときには	AP-1
付録 2 日常のお手入れ	AP-3
付録 3 指紋認証操作方法について	AP-4
修理・お問い合わせについて	RM-1

はじめに

このたびは、fi-5000N をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

fi-5000N は、イメージスキャナによるイメージ入力操作を、コンピュータを操作することなく、簡単かつ確実に実現することを目的として開発された装置です。

また、Setup CD-ROM の中に、オペレーターガイドが格納されています。本製品の詳しい取り扱い方法や、トラブルの対処方法などが書かれています。あわせてご一読ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源高調波抑制について

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。



いつも地球を見守っている

<http://eco.fujitsu.com/jp>

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度

な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

使用上のご注意

本製品のご使用については、マニュアルに記載の注意事項をよくお読みいただき正しく行ってください。スキャナを用いて読み取る原稿や読み取ったデータの保管や管理についてはお客様の責任において行ってください。

また当社が本製品に対して行う保証は、本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品と共に使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

読み取り画像の原稿再現性について

スキャナによって原稿を読み取りつくられる画像電子データが、お客様の必要とする精度・品質をもつ複製であることは保証するものではありません。読み取り結果である画像電子データの寸法精度、情報量、忠実度、色調等における再現性はお客様の責任においてご確認願います。読み取った原稿を破棄する際は、必ず読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上で、お客様の責任の下に行ってください。

指紋認証について

指紋認証は、完全な（100% の）本人認識、他人識別を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しても、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品は利用者の識別データ情報として、登録利用者の指紋データから生成された情報を内部に蓄積します。これらの情報の流用／悪用の危

険性を考慮し、本製品は以下の仕様となっています。

- 識別データ情報には暗号化処理を施しています。
- 識別データ情報から、登録者の指紋画像を復元・生成することはできません。
- 識別データ情報を検索・抽出することはできません。
- 識別データ情報は、製品内でネットワーク上のコンピュータを識別する目的にのみ使用されます。

なお、本製品に用いられているデータの暗号化技術等、危険性の低減措置は現時点の技術レベルに基づくものであり、将来においてもその堅牢性を保証するものではありません。

指紋情報は個人情報に該当します。このような個人情報の取り扱いにあたっては、「個人情報の保護に関する法律」およびその他の法令に準拠して、お客様の責任において必要な措置を実施いたします。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

商標および登録商標について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日 本語版

Windows XP

Microsoft® Windows® XP
Professional operating system 日
本語版、
Microsoft® Windows® XP
Home Edition operating system
日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町580番地（ソリッド
スクエア東館）

TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright©

PFU LIMITED 2006

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身で行わないでください。

製品をお求めになった販売店、あるいは PFU
イメージング サービス & サポートセンター
(RM-2 ページ) に連絡してください。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのごお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）への問い合わせをお願いします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

■本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。なお、本書に記載している画面は、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ、FUJITSU ISIS ドライバ、ScandAll 21、QuickScan™、および fi-5000N ソフトウェアのものであります。



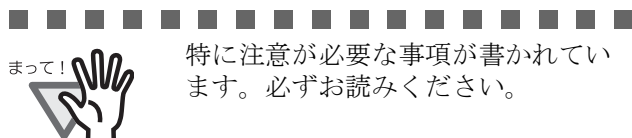
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



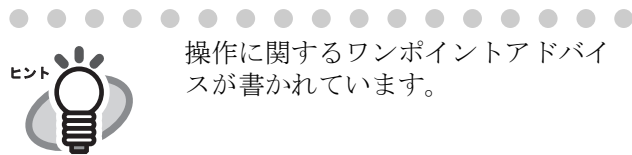
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

■安全上のご注意



電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。また、本製品に添付されている電源ケーブルを、他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因になることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線をしないでください。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音が発生するなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店またはPFUイメージングサービス & サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFUイメージングサービス & サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。

内部に水や異物を入れない



開口部 (通気口など) から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物 (水、金属片、液体など) が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFUイメージングサービス & サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

本装置は日本国内専用です



本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。



注意

装置を不安定なところに置かない



本装置のどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となる場合があります。

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、装置動作不良の原因となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意してください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

第1章 お使いになる前に

1.1 本体と付属品を確認します

本装置を開梱したら、梱包品がすべて揃っているかどうかを添付の梱包品チェックリストで確認してください。

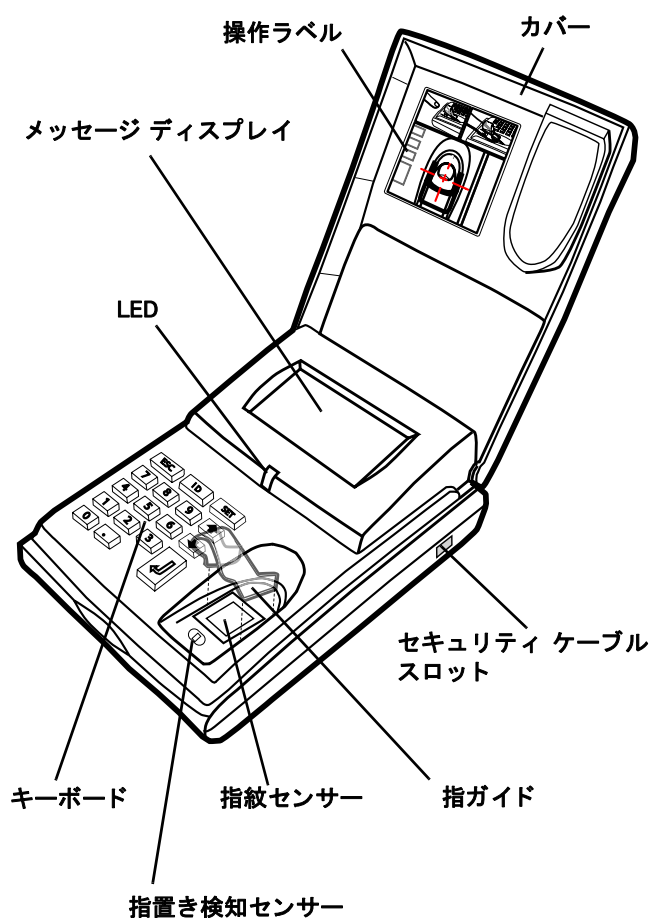
万一、足りないものや不良品がありましたら、販売代理店、またはPFU イメージングサービス & サポートセンター (RM-2 ページ) まで連絡してください。

なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

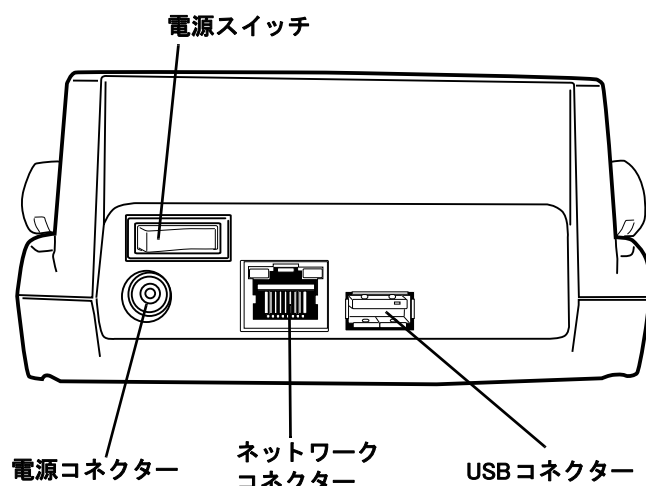
1.2 各部の名称

本装置の各部の名称について説明します。

■ 前面

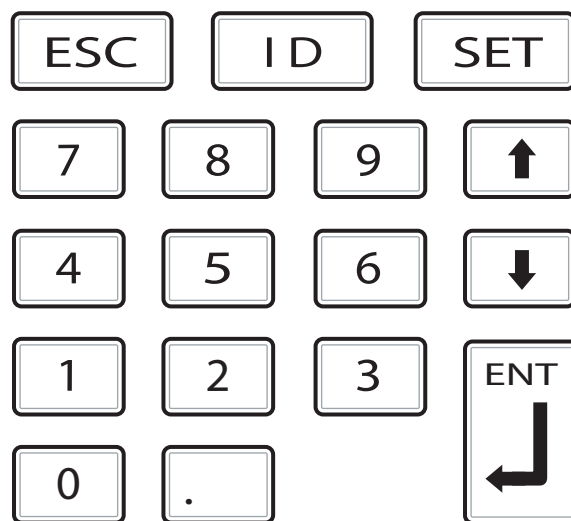


■ 背面



1.3 キーボード

fi-5000N のカバーをあけると、下図のようなキーボードがあります。



このキーボードは、主に以下の操作を行うときに使用します。

- fi-5000N のネットワーク設定 (管理者権限必要)
- fi-5000N 表示言語の変更 (管理者権限必要)
- 指紋登録操作
- 指を使わないログイン操作

上記の操作方法については、「2章 fi-5000N のインストール」(3 ページ) を参照してください。

また、装置運用において以下の操作が必要になる場合があります、これらもこのキーボードから操作します。Setup CD-ROM で提供されている「fi-5000N オペレーターガイド」を参照してください。

- 登録ユーザーの暗証番号変更
- ネットワーク設定状態の表示
- fi-5000N のネットワーク名の表示
- ファームウェア版数の確認
- 接続されているスキャナ状態の表示
- プル操作時の指紋認証設定（管理者権限必要）
- 読み取り後の自動ログアウト時間の設定（管理者権限必要）
- バックライト自動消灯モードの設定（管理者権限必要）
- ビープ音のオン／オフ設定（管理者権限必要）
- ホストからの応答待ち時間の設定（管理者権限必要）
- fi-5000N 設定内容の初期化操作



管理者権限による設定を行う場合は管理者用暗証番号認証が必要です。管理者用暗証番号は fi-5000N 設定ツールにより設定します。



セットアップ CD-ROM 内のオペレーターガイド（PDF）をご覧くださいには「Adobe® Acrobat® Reader®」をインストールする必要があります。＜セットアップディスク起動画面＞－「取扱説明書」－「Adobe® Acrobat® Reader® のインストール」でインストールできます。



本装置に障害が発生した場合、ネットワークなどの再設定が必要になる場合があります。本装置に添付されている「ネットワーク管理者連絡先シール」（下図）に必要事項を記入して、fi-5000N 本体の底面に貼り付けてください。

ネットワーク管理者連絡先

所属： _____
氏名： _____
電話番号： _____

第2章 fi-5000N のインストール

本マニュアルでは FUJITSU TWAIN 32 および ScandAll 21 を用いた読み取りテスト例を "2.7 読み取りテスト" に記載しています。このテストを行う場合は ScandAll 21 のインストールが必要です。

2.1 イメージスキャナの設置

イメージスキャナの設置は、各 fi スキャナ取扱説明書の設置条件にしたがって設置してください。

2.2 fi-5000N 本体の設置

1. fi-5000N を設置場所に置きます。

スキャナの近くに本装置を設置します。イメージスキャナの動作、メンテナンスの妨げにならない場所に設置してください。本装置の外形寸法については、"fi-5000N オペレーターガイド" を参照してください。

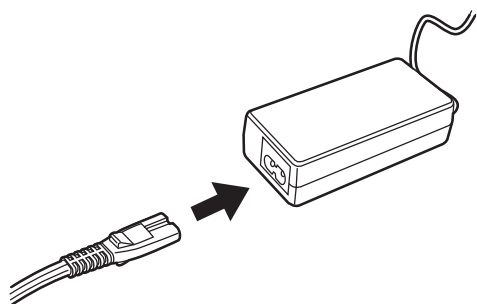
2. AC アダプターを取り付けます。



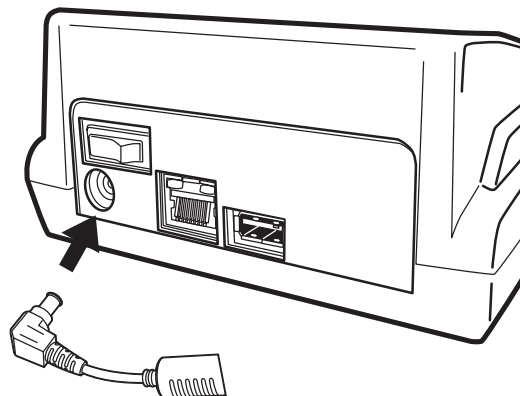
AC アダプターと電源ケーブルは、必ず添付のものをお使いください。



1) AC アダプターと電源ケーブルを接続します。

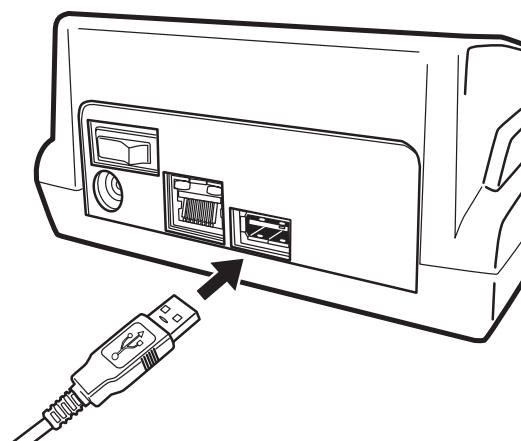


2) AC アダプターのコネクタを、fi-5000N 本体の電源コネクタに接続します。



3) 電源ケーブルを電源コンセントに接続します。

3. USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



USB ケーブルは、fi シリーズのイメージスキャナに添付のものをお使いください。市販の USB ケーブルでの動作は保証できません。



4. もう一方の端をイメージスキャナに接続します。



イメージスキャナが正しく接続されていない、もしくはイメージスキャナの電源が OFF になっていると fi-5000N のメッセージディスプレイに「スキャナが接続されていません」のメッセージが表示されますので、そのときにはイメージスキャナの接続を確認してください。イメージスキャナの電源投入操作については、スキャナ装置の取扱説明書を参照してください。



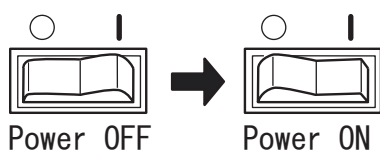
2.3 fi-5000N の設定とネットワークへの接続

■ ネットワークへの接続

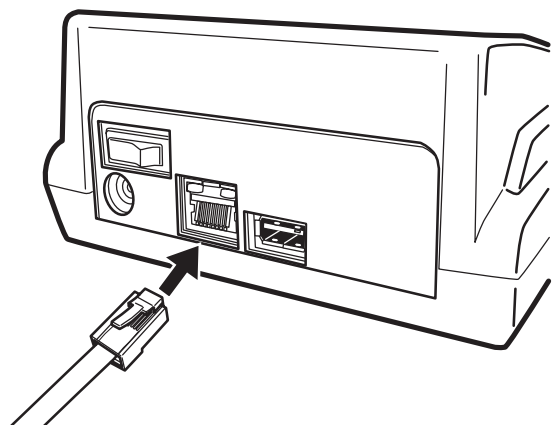
1. イメージスキャナと fi-5000N の電源を入れます。

イメージスキャナの電源投入操作については、スキャナ装置の取扱説明書を参照してください。

fi-5000N の背面にある電源スイッチの「|」側を押すと、fi-5000N の電源が入ります。



2. fi-5000N のメッセージ ディスプレイに「ネットワークケーブルが接続されていません」が表示されている状態で、背面のネットワークコネクタにネットワークケーブルを接続します。



次の画面が表示されます。

DHCPサーバから
IPアドレスを
取得中 . . .
中止 [ESC]



上記画面が表示されたまま止まってしまう場合は、fi-5000N のカバーを開いて、[ESC] キーを押してください。

⇒ 次の画面が表示されて、IP アドレスの取得を中止します。

DHCPサーバから
IPアドレスを取得
できませんでした
設定 [SET]

DHCP サーバから IP アドレス取得に成功すると、「指紋センサーに指を置いてください」というメッセージが表示されます。

3. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

4. 操作パネルの[↓]キーを6回押し、「管理者用設定」を選択して[↵] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _

戻る : [ESC]

5. 管理者の暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

6. 「ネットワーク設定」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような選択画面になります。

DHCPを使用しますか？

DHCPを使用する
固定IPを使用する

7. DHCP（動的ホスト構成プロトコル）サーバから、IP アドレスを自動的に取得する場合は、「DHCP を使用する」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。
手動で IP アドレスを入力する場合は、「固定 IP を使用する」を選んで [↵] (ENT) キーを押します。

「DHCP を使用する」を選択した場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの設定が不要になります。

⇒手順 11 に進んでください。

「固定 IP を使用する」を選択した場合は、次のようなネットワーク設定画面になります。

IPアドレス：
XXX.XXX.XXX.XXX



DNS 自動更新 (ダイナミック DNS) に対応していない DNS サーバおよび DHCP サーバでは、IP アドレス設定に DHCP を指定した場合、「ホスト名解決の問題」が発生することがあります。

ネットワーク管理者に相談の上、以下のいずれかの方法にて対処してください。

fi-5000N について

- 1) DNS 自動更新に対応した DNS サーバおよび DHCP サーバを使用する。
- 2) DHCP サーバ側の設定において IP アドレスのリース期間を長くする。
- 3) 固定 IP 設定に切り替える。

ホストコンピュータについて

- 1) DNS 自動更新に対応した DNS サーバおよび DHCP サーバを使用する。
- 2) DHCP サーバ側の設定において IP アドレスのリース期間を長くし DNS サーバにコンピュータ名を登録する。
- 2) 固定 IP 設定に切り替える。



8. IP アドレスを入力します。

現在設定されている IP アドレスが入力欄に表示されています。変更するときは、一度 [ESC] キーを押して入力欄をクリアします。正しいアドレスを入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

9. サブネットマスクを入力します。

現在設定されているサブネットマスクが入力欄に表示されます。変更するときは、一度 [ESC] キーを押して入力欄をクリアします。正しい値を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

10. デフォルトゲートウェイを入力します。

現在設定されている IP アドレスとサブネットマスクで決まる部分まで表示されていますので、続きを入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

11. DNS サーバのアドレスを、DNS1 (優先)、DNS2 (代替)に入力します。

現在設定されているアドレスが入力欄に表示されています。変更するときは、一度 [ESC] キーを押して入力欄をクリアします。正しいアドレスを入力したら、[↵] (ENT) キーを押します。省略する場合は、未入力状態または、「0.0.0.0」と入力して、[↵] (ENT) キーを押します。DNS1 の入力を省略すると DNS2 の入力はスキップされます。

デフォルトゲートウェイアドレスが適切であれば、速度 /Duplex (オートネゴシエーション) 設定画面になります。

速度/Duplex選択
Auto Negotiation
100BASE-TX Full
100BASE-TX Half

12. 「Auto Negotiation」、「100BASE-TX Full」、「100BASE-TX Half」、「10BASE-T Full」、「10BASE-T Half」のいずれかを [↑]、[↓] キーで選択して [↵] (ENT) キーを押します。

通常は「Auto Negotiation」を選択します。[↵] (ENT) キーを押すと次のネットワーク設定確認画面が表示されます。

IP :XXX.XXX.XXX.XXX
MASK:XXX.XXX.XXX.XXX
GW :XXX.XXX.XXX.XXX
OK:[ENT]/NG:[ESC]

13. 設定内容 (2 画面) を確認します。

修正する場合は、[ESC] キーを押す毎に設定項目を戻っていきます。修正項目の設定画面まで戻り、そこから再度設定します。内容に問題が無ければ [↵] (ENT) キーを押してください。次の画面が表示されます。

ネットワーク
初期化中...

これでネットワーク設定は完了です。

2.4 ドライバのインストール



fi-5000N 本体の設定を初期化すると、ここで設定した値はクリアされます。忘れないように、メモしておきましょう。
(DHCP を使用する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの記入は不要です。)

ネットワーク設定

装置名	:			
IP アドレス	:	.	.	.
サブネットマスク	:	.	.	.
デフォルトゲートウェイ	:	.	.	.
DNS 1	:	.	.	.
DNS 2	:	.	.	.

fi-5000N に接続したスキャナ装置からコンピュータに原稿を読み取るためには、スキャナドライバと、読み取りを行うためのアプリケーションをコンピュータにインストールする必要があります。

スキャナドライバとアプリケーションが、下記のように用意されています。必要に応じてインストールしてください。

- スキャナドライバ：
FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ
FUJITSU ISIS スキャナドライバ
- アプリケーション：
ScandAll 21 (FUJITSU TWAIN 32 用)
QuickScan Pro™ (FUJITSU ISIS 用、スキャナ添付の CD-ROM に含まれている)

ご使用になるアプリケーションに応じた適切なドライバをインストールしてください。

本マニュアルでは FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ、ScandAll 21 を用いた動作確認事例を記載しています。

各ドライバのインストール方法については以下で説明します。



- スキャナ装置にもスキャナドライバが添付されていますが、本製品にスキャナを接続して使用する場合は、必ず、本製品に添付されているスキャナドライバを使用してください。
- 対応スキャナの追加や改善のため、スキャナドライバを改版することがあります。最新版のスキャナドライバについては、当社ホームページを参照してください。
- QuickScan Pro™ は、本製品には添付されておりません。スキャナ装置に添付されているものをご使用ください。
インストール方法については、スキャナ装置に添付されている「スタートアップガイド」を参照してください。
- ScandAll 21 を使用される場合は本製品添付のものをインストールしてください。fi-5000N に対応した機能が追加されています。
- スキャナ読み取りに使用する PC には複数の IP アドレスを割り当てるネットワーク設定は行わないでください。
- Windows XP の場合、スキャナ読み取り時には「簡易ユーザー切り替え」機能を使用しないでください。

FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ

■ 準備

インストールを始める前に、以下の内容を確認してください。

- Setup CD-ROM を準備してください。
- 旧バージョンの FUJITSU TWAIN 32 ドライバが既にインストールされている場合は、アンインストールしてください。



コントロールパネル内の [プログラム (またはアプリケーション) の追加と削除] で、[Scanner Utility for Microsoft Windows] を削除してください。

■ FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバのインストール



Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって、表示される画面および操作が若干異なります。

1. コンピュータの電源を入れて、Windows にログインします。



Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、"Administrator" の権限 (コンピュータの管理者権限) を持つユーザーでログインしてください。

2. Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。

⇒ <セットアップディスク起動画面>が表示されます。



お使いのコンピュータの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面>が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の "Install.exe" を直接実行してください。

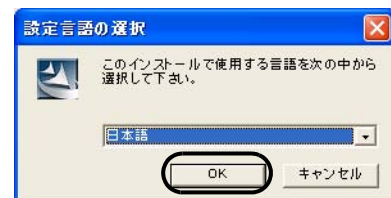
3. [インストール] ボタンをクリックします。



4. 以下の画面で、[TWAIN ドライバ] ボタンをクリックします。



5. 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



6. 表示される画面指示にしたがってインストールします。
7. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。



システムが再起動されます。再起動が完全に終わるまで Setup CD-ROM を取り出さないでください。

これで、スキャナドライバのインストールは終了です。



スキャナを使って読み取りを行うためには、さらに、TWAIN 規格に対応したアプリケーションが必要になります。

"2.7 読み取りテスト" を行う場合は本製品に添付されている「ScandAll 21」をご使用ください。スキャナに添付の ScandAll 21 を既にインストール済みの場合は削除してから行ってください。

ScandAll 21 をインストールする場合は、前ページの手順 4 で「ScandAll 21」を選択してください。



■ ScandAll 21 のインストール

「ScandAll 21」は、TWAIN 規格に対応した、画像取り込み用ソフトウェアです。FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバを使って、スキャナから画像を取り込むことができます。

旧バージョンあるいはスキャナ添付の ScandAll 21 が既にインストールされている場合はまず現在の ScandAll 21 をアンインストールしてください。コントロールパネル内の「プログラム（またはアプリケーション）の追加と削除」で、「ScandAll 21」を削除してください。



Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、「Administrator」の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。



1. Setup CD-ROM をセットします。

⇒ <セットアップディスク起動画面>が表示されます。

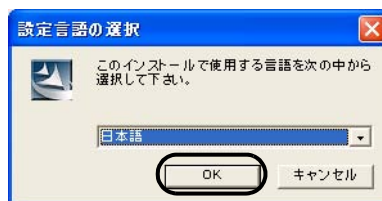
2. [インストール] ボタンをクリックします。



3. 以下の画面で、[ScandAll 21] ボタンをクリックします。



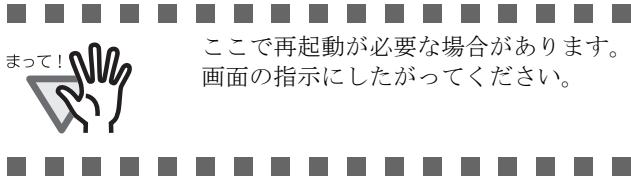
4. 「設定言語の選択」画面で、インストール時に使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



5. 画面の指示にしたがってインストールします。

6. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。





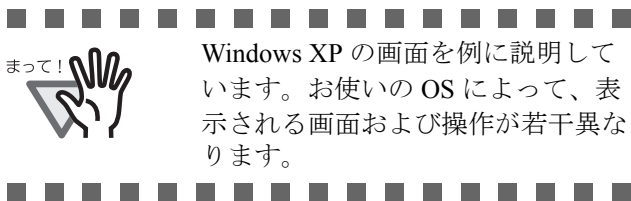
ここで再起動が必要な場合があります。
画面の指示にしたがってください。

FUJITSU ISIS スキャナドライバ

■ 準備

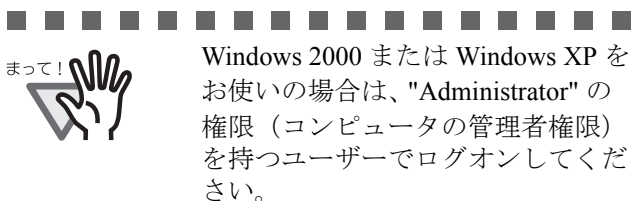
Setup CD-ROM を準備してください。

■ FUJITSU ISIS スキャナドライバのインストール



Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって、表示される画面および操作が若干異なります。

1. コンピュータの電源を入れて Windows にログオンします。



Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、"Administrator" の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

2. Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。

⇒ <セットアップディスク起動画面> が表示されます。



お使いのコンピュータの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面> が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の "Install.exe" を直接実行してください。

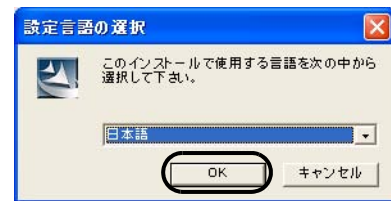
3. [インストール] ボタンをクリックします。



4. 以下の画面で、[ISIS ドライバ] ボタンをクリックします。



5. 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



6. 画面に表示される指示に従ってインストールします。

7. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

システムが再起動されます。再起動が完全に終わるまで Setup CD-ROM を取り出さないでください。

これで、スキャナドライバのインストールは終了です。



ヒント
 スキャナを使って読み取りを行うためには、さらに、ISIS 規格に対応したアプリケーションが必要になります。お使いのコンピュータにインストールされていない場合は、スキャナ装置に添付されている「QuickScan Pro™」をインストールしてください。

2.5 fi-5000N ソフトウェアのインストールと設定

■ fi-5000N ソフトウェアのインストール

以下の手順で、運用管理者用コンピュータおよび、スキャナを利用するユーザー用コンピュータに、fi-5000N ソフトウェアをインストールします。

1. コンピュータの電源を入れて Windows にログオンします。



- Windows 2000またはWindows XPをお使いの場合は、"Administrator"の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。
- 対応スキャナの追加や改善のため、fi-5000N ソフトウェアを改版することがあります。最新版のfi-5000N ソフトウェアについては、当社ホームページを参照してください。

2. Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。

⇒ <セットアップディスク起動画面> が表示されます。

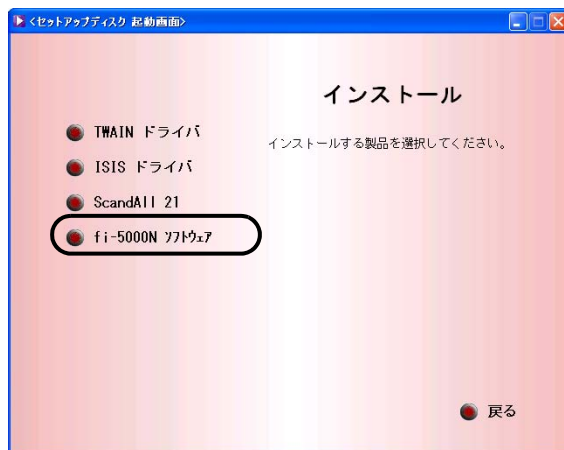


お使いのコンピュータの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面> が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の "Install.exe" を直接実行してください。

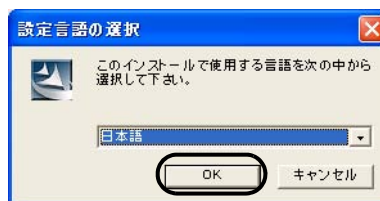
3. [インストール] ボタンをクリックします。



4. 以下の画面で、[fi-5000N ソフトウェア] ボタンをクリックします。



5. 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



6. 画面に表示される指示にしたがってインストールします。

7. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

これで、fi-5000N ソフトウェアのインストールは終了です。



Windows XP Service Pack 2 において、fi-5000N ソフトウェアのインストール完了後に「Windows セキュリティの重要な警告」が表示されることがあります。この場合、[ブロックを解除する] を選択してご使用ください。

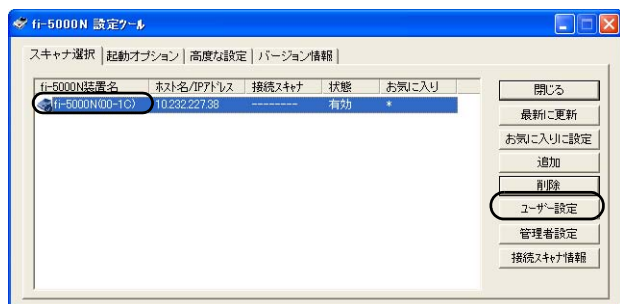


■ ユーザー登録

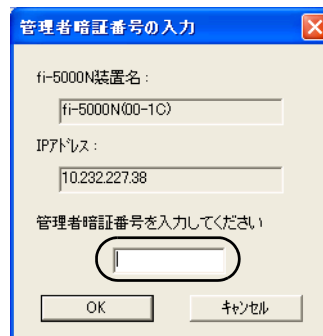
運用管理者は、運用管理者コンピュータにインストールされた fi-5000N ソフトウェアを使って、fi-5000N（本装置）に、ユーザーを登録します。

ユーザー情報の新規登録

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [fi-5000N ソフトウェア] → [fi-5000N 設定ツール] を選択します。
2. 装置名を選択し、[ユーザー設定] ボタンをクリックします。



3. 暗証番号の入力が求められますので、管理者用暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ ユーザー登録画面が表示されます。

4. [登録] を選択して、「ユーザー名:」、「新しい暗証番号:」、「ホスト名/IPアドレス:」を入力して、[実行] ボタンをクリックします。



⇒ ユーザーリストに、登録されます。

5. 利用するユーザーの分、手順4を繰り返します。
 6. [閉じる] ボタンをクリックします。
- これで、fi-5000N にユーザーが登録されました。

■ スキャナの設定

ユーザーは、ユーザー用コンピュータにインストールした fi-5000N ソフトウェアと読み取りに使用するアプリケーションを使って、スキャナの設定を行います。

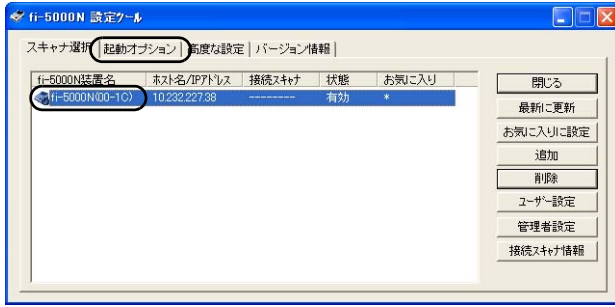
fi-5000N ソフトウェアの設定

fi-5000N ソフトウェアでは、スキャナ上のボタンを押したときに起動するアプリケーションの設定を行います。

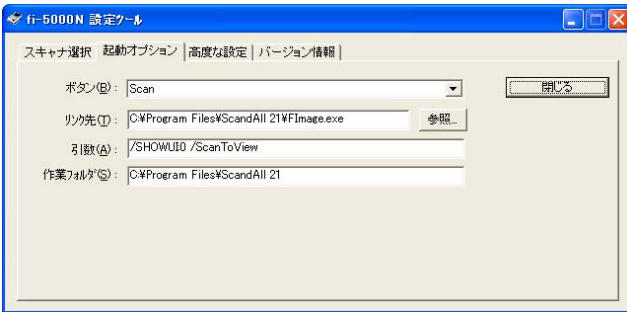
（ここでは、例として、スキャナの [Scan] ボタンを押すと、ScandAll 21 が起動するように設定します。）

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [fi-5000N ソフトウェア] → [fi-5000N 設定ツール] を選択します。

- fi-5000N 装置名を選択し、[起動オプション] タブをクリックします。



- 以下の画面が表示されるので、起動するアプリケーションを設定します。



ボタン：	「Scan」、「Send to 1 ～ Send to 9」の中から、設定するボタンを選択します。(ここでは、「Scan」を選択します) ボタンに対して以下の「リンク先」、「引数」、「作業フォルダ」を指定しないとボタンを押しても何も起動しません。
リンク先：	起動するアプリケーションのファイル名を指定します。(ここでは、ScandAll 21 を選択します。→デフォルトで、c: ¥ Program Files ¥ ScandAll 21 ¥ FImage.exe)
引数：	指定したアプリケーションを起動するときに渡す、引数を設定します。(ここでは、/SHOWUI:0 /ScanToView と入力します。半角文字のみ有効です。)(<code>_</code> は半角スペース)
作業フォルダ：	アプリケーション起動時のデフォルトのフォルダを指定します。



指定できる引数は、アプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
引数を指定しないと、アプリケーションを普通に起動した状態になりますが読み取りは行いません。起動後に継続して読み取りを行うには、引数を指定する必要があります。

ScandAll 21 の場合、以下のような引数があります。
これらの引数は、複合して使用することもできます。各引数のスラッシュ (/) の前に必ずスペース () をひとつ入れてください。引数は半角文字のみ有効です。

/ScanToView
読み取った画像を画面に表示します。
/ScanToFile
読み取った画像をファイルに保存します。
/Exit
読み取り後に、アプリケーションを終了します。

/PROGRES:0
FUJITSU TWAIN32 のプログレスインジケータを非表示にします。
/SHOWUI:X

FUJITSU TWAIN32 の設定画面の表示を指定できます。
X=0: 非表示、X=1: 強制表示、X=2: 画面に従う

/SCANDEF:XX
FUJITSU TWAIN32 の設定ファイルを指定できます (XX=00 ～ 99)。

/NOSCNERR
FUJITSU TWAIN32 のエラーメッセージを非表示にします。

/NOAPPERR
ScandAll 21 のエラーメッセージを非表示にします。

/AppendToView
表示されている画像に、読み取り画像を追加します。

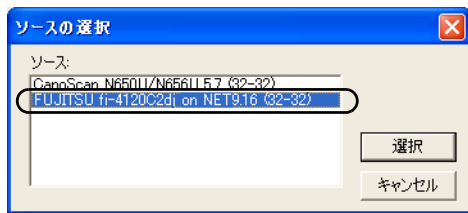
/NOOPDLG
スキャン - オプション 画面にて指定可能な以下の設定ダイアログの表示を行わないようにします。
ファイル設定ダイアログ
FTP サーバ設定ダイアログ
印刷設定ダイアログ
Microsoft SharePoint Portal Server 設定ダイアログ
メール送信設定ダイアログ

アプリケーションの設定

アプリケーションでは、スキャナの選択と、読み取り条件の設定を行います。
(ここでは、例として、ScandAll 21 を使用した設定手順について説明します。
「読み取りテスト」(15 ページ) を行う場合は本製品添付の ScandAll 21 の事前のインストールが必要です。)

- アプリケーションを起動します。
([スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Scanner Utility for Microsoft Windows] → [ScandAll 21] を選択します。)

- 読み取りに使用するスキャナを選択します。
([スキャン] → [スキャナの選択])



⇒スキャナ名「"FUJITSU"+" 装置名 "+on NET"」を選択して、[選択] ボタンをクリックします。

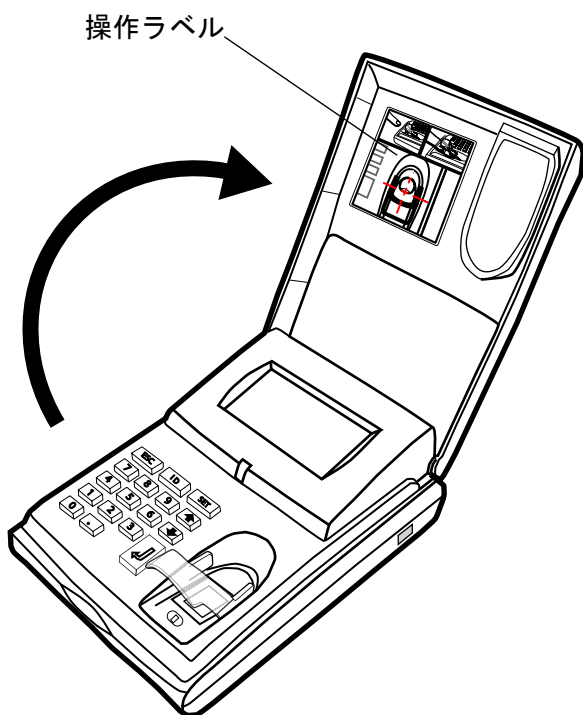
- スキャナドライバ画面を起動し、読み取り条件の設定を行います。
([スキャン] → [画面に表示])
読み取り条件を一通り設定し、[閉じる] ボタンをクリックします。

※読み取り条件の設定方法については、「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ 取扱説明書」を参照してください。

2.6 指紋登録

本装置の利用者として指名されたユーザーは、本装置に対し、各自の指紋情報を登録する必要があります。ただしユーザーの指紋情報登録は必須ではなく、怪我や身体的事情で登録を行う事が出来ないユーザーも暗証番号を使い、本装置を利用する事が出来ます。ユーザーの指紋登録操作は本装置上で、以下の手順にしたがって行います。

- fi-5000N のカバーを開きます。



fi-5000N のメッセージディスプレイに、「指紋センサーに指を置いてください」と表示されていることを確認してください。

- fi-5000N のメッセージディスプレイに「指紋センサーに指を置いてください」が表示されている状態で (=「ログアウト」状態)、[SET] キーを押します。

次の画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

- 「指紋登録」を選択して [↵] (ENT) キーを押します。

fi-5000N に登録されているユーザーの一覧が表示されます。

ユーザー選択

<ユーザー名>
<ユーザー名>
<ユーザー名>

- [↑]、[↓] キーを押して、登録されているユーザーの一覧から指紋登録するユーザーを選択して、[↵] (ENT) キーを押します。



以下のように、ユーザー ID 番号をキーボードから入力して、ユーザーを選択することもできます。

- キーボードで、ログインしたいユーザー ID 番号を入力します。
- [↵] (ENT) キーを押します。
⇒ユーザー名が、選択された状態で、画面に表示されます。
- 再度、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面に暗証番号の入力が求められます。

暗証番号 : _

戻る : [ESC]

5. ユーザー登録で設定したユーザー用暗証番号を入力して、[←] (ENT) キーを押します。

暗証番号が設定したものと一致しないと、「暗証番号が違います」というメッセージが表示され、もう一度入力を求められます。

暗証番号が違います

暗証番号が一致すると、次のような画面になります。

指の置き方はカバー裏面の操作ラベルを見てください
OK: [ENT]

カバー裏面の操作ラベルを参照して、正しい指の置き方を確認してください。詳細については、「付録3 指紋認証操作方法について」を参照してください。

[←] (ENT) キーを押すと、以下の画面が表示されます。

指紋登録:

指紋センサーに指を置いてください

6. 指紋センサーに指を置きます。

指紋が正しく取れば、「ピッ」というピープ音とともに次のような画面になります。

処理中...
■□□
センサーから指を離してください。

7. 指紋センサーから指を離します。

次の画面が表示されます。

指紋照合を2回行ないます。
指紋センサーに指を置いてください

8. 指紋照合（1回目）を行います。指紋センサーに指を置きます。

指紋照合がうまくいくと、次のようなメッセージが表示されます。

1回目の照合に成功しました

9. 指紋照合（2回目）を行います。指紋センサーに指を置きます。

2回目の指紋照合を行ないます。
指紋センサーに指を置いてください

10. 2回目の指紋照合が終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

2回目の照合に成功しました

さらに、指紋データ保存中を示すメッセージが表示されます。

指紋データを保存しています...

引き続き次の登録完了メッセージが表示されます。

指紋登録が完了しました
OK: [ENT]

これで指紋登録操作は完了です。[←] (ENT) キーを押してください。

2.7 読み取りテスト

設定が終わったら、イメージの読み取りテストを行います。

fi-5000N からの読み取り (プッシュ読み取り)

- ①ユーザー認証
- ②原稿セット
- ③スキャナボタン押下による読み取り動作の手順で、イメージが正常に読み取られることを確認します。

■ ユーザー認証 ①

ログアウト状態から、システムの読み取り起動ができる状態に移行(=ログイン)するために指紋認証を用います。また、登録している指を怪我していたり、極度の乾燥指のために指紋認証が利用できない場合の代替として暗証番号認証を装備しています。

指紋認証の場合

1. fi-5000N のメッセージディスプレイに「指紋センサーに指を置いてください」が表示されている状態で(=「ログアウト」状態)、本装置(fi-5000N)に登録した指を置きます。

指紋センサーに指を
置いてください



操作に慣れて正しく指紋認証できるようになった後は、指ガイドを外して使用することもできます。取り外し方については、「付録3 指紋認証操作方法について」を参照してください。

指が指紋センサーに置かれたことが検出されると次のメッセージが表示され、指紋の取得が開始されます。

指紋取り込み中...

2. 指紋の取得がうまくいくと「ピッ」というブザー音とともに次のメッセージが表示されますので、指を指紋センサーから離します。

照合中...

センサーから指を
離してください

3. 次に指紋照合が行われます。

指紋照合がうまくいくと、「ピッ」というブザー音とともに次のような画面になります。

<ユーザー名>

原稿をセットして
[Scan]/[Send to]を
押してください

暗証番号認証の場合

1. ログアウト状態で、[ID] キーを押します。

ユーザー選択画面が次のように表示されます。

ユーザー選択

<ユーザー名>
<ユーザー名>
<ユーザー名>

2. ログインしたいユーザーを[↑]、[↓] キーで選択し、[↵] (ENT) キーを押します。



以下のように、ユーザー ID 番号をキーボードから入力して、ユーザーを選択することもできます。

1. キーボードで、ログインしたいユーザー ID 番号を入力します。
2. [↵] (ENT) キーを押します。
⇒ ユーザー名が、選択された状態で、画面に表示されます。
3. 再度、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になり、暗証番号の入力が求められます。

暗証番号 : _

戻る : [ESC]

3. ユーザーの暗証番号を入力して、[↵] (ENT) キーを押します。

暗証番号が登録されたものと一致しないと、「暗証番号が違います」というメッセージが表示され、もう一度入力を求められます。

4. 暗証番号が一致していると、次のような画面となります。

＜ユーザー名＞
原稿をセットして
[Scan]/[Send to]を
押してください

■ 読み取りの実行 ②, ③

fi-5000N に接続されたイメージスキャナに原稿をセットし、スキャナ上の [Scan] ボタン、あるいは [Send to] ボタン (fi-5000N ソフトウェア 起動オプションの設定による) を押します。

読み取りが開始され、原稿が排出されます。

イメージデータ受信コンピュータにインストールされた ScandAll 21 ソフトウェアが起動し、画面に読み取ったイメージが表示されていれば動作は正常です。

付録 1 困ったときには

修理を依頼する前に、まず以下を確認してください。

また、メッセージディスプレイにエラーが表示されていないかを確認してください。エラーが表示されている場合は "fi-5000N オペレーターガイド" を参照し適切な対処をしてください。

直らない場合は、ご購入の販売代理店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにお問い合わせください (RM-2 ページ)。

症状	点検項目	対処方法
fi-5000N の電源が入らない [電源ランプ (LED) が消灯している]	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチを投入してください。
	fi-5000N の AC アダプター、電源ケーブルは正しく接続されていますか？	AC アダプター、電源ケーブルを正しく接続しなおしてください。
	fi-5000N の電源を切断し、USB ケーブルを抜き電源を再投入します。電源ランプは点灯しませんか？	左記の操作で復旧する場合は、USB ケーブル、あるいはスキャナに問題がないか確認してください。
	fi-5000N の電源を切断し、ネットワークケーブルを抜き電源を再投入します。電源ランプは点灯しませんか？	左記の操作で復旧する場合は、ネットワークケーブルあるいはネットワーク (HUB、ルーターなど) に問題がないか確認してください。
	以下が正常であれば電源ランプ (LED) 不良です。正常に表示点灯しませんか？ 1. ネットワークコネクタ部のランプは点滅 (橙) していますか？ 2. 操作パネルにメッセージは表示されていますか？ 3. 管理ソフトウェアから問題の fi-5000N は見えますか？	電源を再投入してください。
操作パネルが何も表示しない	fi-5000N の電源ランプは点灯していますか？	電源スイッチを一旦切断し、AC アダプター、電源ケーブルの接続を確認してから電源を再投入してください。
	fi-5000N の電源を切断し、USB ケーブルを抜き電源を再投入します。操作パネル表示は正常になりませんか？	左記の操作で復旧する場合は、USB ケーブル、あるいはスキャナに問題がないか確認してください。
	fi-5000N の電源を切断し、ネットワークケーブルを抜き電源を再投入します。操作パネル表示は正常になりませんか？	左記の操作で復旧する場合は、ネットワークケーブルあるいはネットワーク (HUB、ルーターなど) に問題がないか確認してください。
キーボードを押しても反応しない	fi-5000N の電源ランプが点灯し、メッセージディスプレイにメッセージを表示していますか？	電源スイッチを一旦切断し、AC アダプター、電源ケーブルの接続を確認してから電源を再投入してください。
スキャナの [Scan] また [Send to] ボタンを押しても読み取りを開始しない	スキャナはエラー状態になっていませんか？ (スキャナのファンクションナンバーディスプレイに "U" または "E" ではじまるコードを表示していますか？)	表示コードを記録し、表示コードにしたがって適切な処理を行ってください。表示コードの意味についてはスキャナのマニュアルを参照してください。
	fi-5000N にエラーメッセージが表示されていませんか？	表示内容にしたがって適切な処置を行ってください。
	fi-5000N の電源を切断後 USB ケーブルを抜き、電源を再投入してスキャナのボタンを押すと読み取りを開始しませんか？	左記の操作で復旧する場合は、USB ケーブル、あるいはスキャナに問題がないか確認します。
	fi-5000N の電源を切断後ネットワークケーブルを抜き、電源を再投入してスキャナのボタンを押すと読み取りを開始しませんか？	左記の操作で復旧する場合は、ネットワークケーブルあるいはネットワーク (HUB、ルーターなど) に問題がないか確認します。

症状	点検項目	対処方法
fi-5000N 設定ツールの [スキャナ選択] タブから fi-5000N が見えない (ネットワーク通信ができない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークケーブルは接続されていますか？ 2. HUB の電源は入っていますか？ 3. fi-5000N の IP アドレスが正しく設定されていますか？ 4. fi-5000N の電源は入っていますか？ 	ネットワークケーブルあるいはネットワーク (HUB、ルータなど) に問題がないか確認してください。
スキャナ読み取り時に、「スキャナが見つかりません」と表示される。	fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、使用する fi-5000N が「お気に入り」に指定されていますか？	使用する fi-5000N を「お気に入り」に設定してください。
	fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、「お気に入り」の fi-5000N の「状態」が「無効」になっていませんか？	使用する fi-5000N の電源が入っているか、ネットワークが切断されていないか確認してください。
	fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、「お気に入り」の fi-5000N の「接続スキャナ」が「-----」になっていませんか？	使用する fi-5000N にスキャナが接続されているか、接続されているスキャナの電源が入っているか確認してください。
	fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、「お気に入り」の fi-5000N の「状態」が「使用中」になっていませんか？	fi-5000N を他の人が使用しています。使用の完了を待って、「スキャナ選択」表示を最新に更新した上で、fi-5000N の「状態」が「有効」になっていることを確認してから、もう一度スキャナ読み取り操作を行ってください。
指紋認証すると違うユーザーでログインしてしまう。	1 つの指紋を複数のユーザーに登録していませんか？	ユーザーごとに異なる指紋を登録してください。

付録 2 日常のお手入れ



本装置を清掃する場合は、電源を切った後、AC アダプターをコンセントから抜いてから行ってください。

■ 清掃用品

清掃用品	商品番号	備考
クリーナー F1 (またはイソプロピルアルコール)	0631150	1 ボトル 布にしみこませて清掃します。*1 (印刷部・塗装部には、使用しないでください。)
乾いた布	市販のもの	

*1) 清掃用品の詳細については、スキャナをご購入された販売会社、または富士通ワーク株式会社 (RM-2 ページ) にお問い合わせください。

■ 清掃箇所と頻度

清掃箇所	清掃方法	備考
本体カバー	乾いたやわらかい布で、表面を軽くふき取ってください。	
指紋センサー	乾いたやわらかい布で、表面を軽くふき取ってください。	センサー表面に、水などの液体をたらしさないでください。また、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。



指紋センサー表面の清掃について

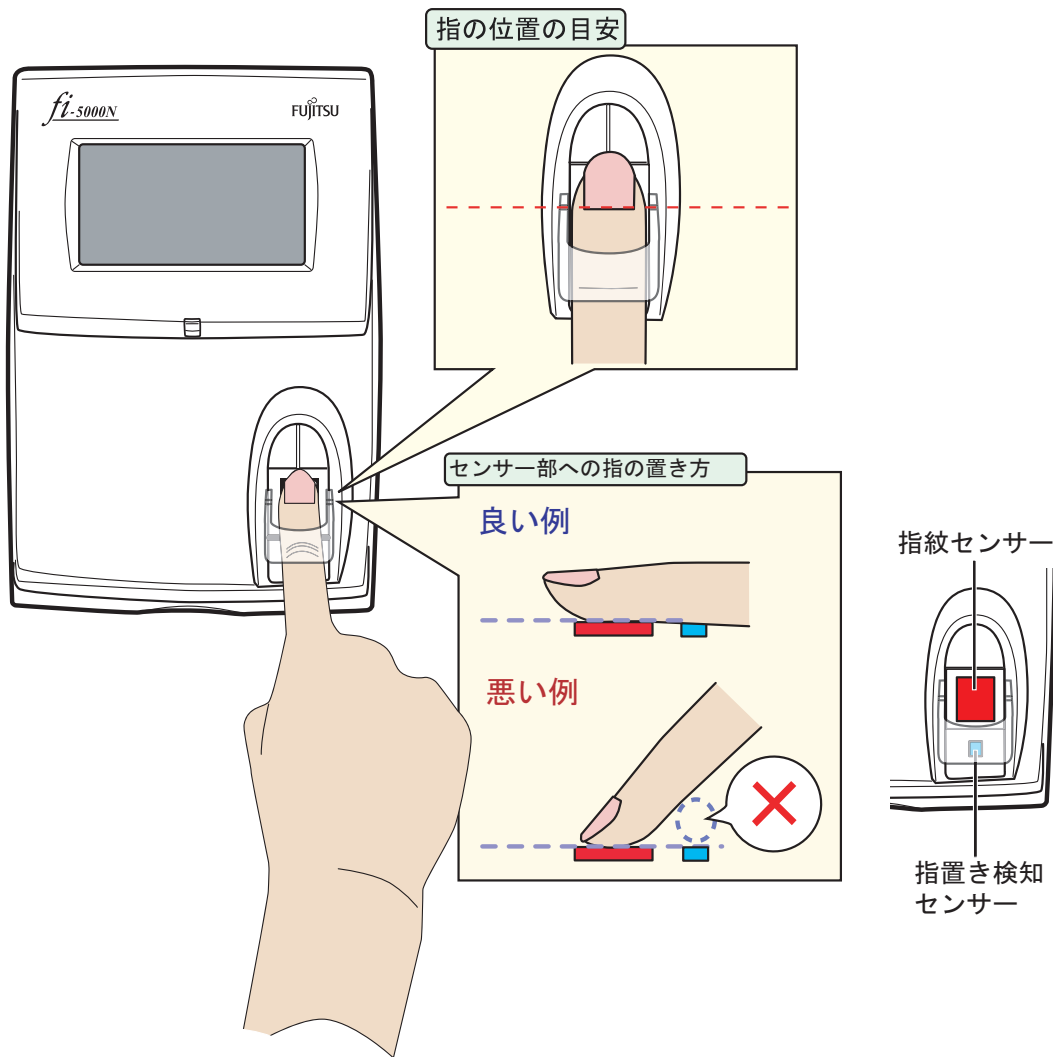
- 次のような場合は指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下することがあります。センサー表面は定期的に清掃してください。
 - 表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - 表面に汗などの水分が付着している
 - 表面が結露している
- 次のような現象が起こる場合は、センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
 - 指を離しているのに「センサーから指を離してください」の表示が出たままになる
 - 指紋登録や指紋照合の失敗が頻発する

付録3 指紋認証操作方法について

1. 指の置き方

指紋の登録や認証を行う場合は、以下のことに注意してください。

- 精度を保つため、下図のように指の腹（指紋の中心部）が「指紋センサー」の中央にくるように指を置きます。目安として、爪の根元を白い目印を結んだ線に合わせ、センサーに指を押しあててください。
- 指を「指置き検知センサー」の上にかぶせるようにして乗せます。（指と指置き検知センサーの間に隙間ができないようにしてください。）



指の状態が以下のような場合には、指紋の登録が困難になったり、照合率が低下することがあります。

- 手が荒れたり、極端に乾燥している。
- 指に傷がある、または磨耗して指紋が薄い。
- 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した。

手を洗う、手を拭う、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、登録時や照合時の状況が改善されることがあります。

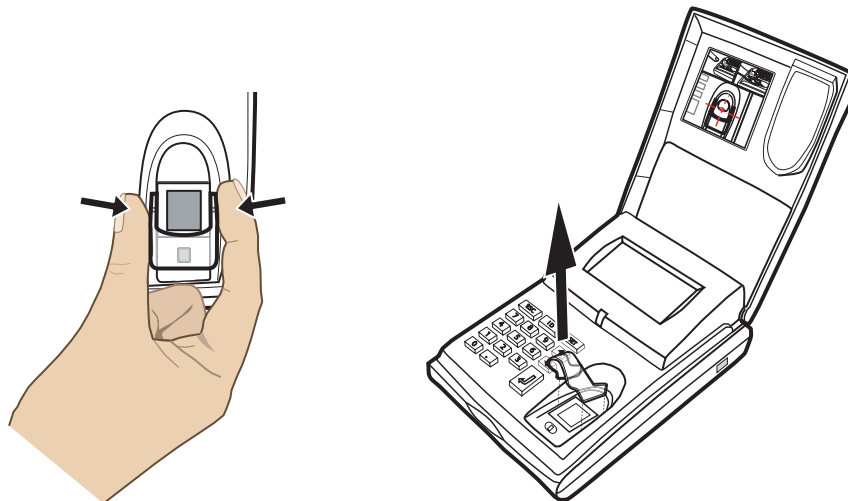
2. 指紋センサーの取扱上の注意

- 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、マジックなどで塗りつぶしたりしないでください。故障および破損の原因となります。
- 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となります。
- 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦らないでください。センサー表面にキズが入り、故障および破損の原因となります。
- 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れないでください。細かい異物などによりセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れて、故障および破損の原因となります。
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ・ 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - ・ 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
 - ・ 指紋センサー表面が結露している
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
 - ・ 指を離しているのに「再度読み取ります指を離してください」の表示が出たままになる。
 - ・ 指紋の登録失敗や照合失敗が頻発する。
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。

3. 指ガイドの取り外し方

指ガイドは、以下の手順で取り外すことができます。

- 1) 指ガイドの左右両端を指でつまみます。
- 2) 指ガイドを内側に軽くたわませて、fi-5000N 本体から固定ピンを外します。
- 3) 指ガイドを上方に持ち上げて、fi-5000N 本体から取り外します。



修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して富士通イメージスキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。
購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

□ 定額訪問修理サービス

機器の故障発生時には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。
メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。
全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

□ 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。
機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。
機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

□ センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料+部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中に代替機を貸出します。 （引き取りと併用）

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できません。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

□ オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間＝1時間まで）＋部品費＋オプション料金＋加算料金（技術料金。その他加算料金）
-------------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージング サービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120 - 37 - 9089 042 - 788 - 7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または
PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 清掃用品の購入先

清掃用品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、
または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社
TEL: 0120-505-279（お客様総合センター）
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

電話お問い合わせ受け付け時間：月～金／9：00～17：30（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

- ・本製品の修理はお客様自身では行わないでください。
- ・本製品の保証条件については製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
保証書には所定事項をご記入の上大切に保管願います。
- ・本製品の修理部品の最低供給期間は製品の製造打ち切り後5年間です。

fi-5000N スタートアップガイド

P3PC-1122-04

発行日 2006 年 6 月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。
- 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。
- 本書に記載されている内容に誤りがあっても、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規程をご覧ください。
- 本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。